

学生視点で地域の魅力を再発見する映像や体験作品を展示 社会学部生と茨木市の共催イベントを10月15日より開催！

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：真銅正宏）社会学部の林勇氣教授とゼミの学生11人は2026年10月15日（木）から17日（土）までの3日間、茨木市市民総合センター（クリエイティブセンター）にて、展覧会「いばらきシアター ～メイクリメイク～」を開催いたします。

本展覧会は、茨木市が市民や学生にとって大切な場所であることを再発見し、積極的な交流を創発することを目的としています。茨木市の提案公募型公益活動支援事業「チャレンジいばらき補助金」に採択されており、茨木市企画財政部まち魅力発信課との共催のもと実施されます。

今年度は前年度の体験型コンテンツに加え、茨木市の魅力や地域の特産物をモチーフにした映像作品（全4作品）を新たに制作・展示いたします。映像表現を用いることで、茨木市の街の風景やそこで暮らす人たちの営みといった雰囲気を、より臨場感をもってお伝えします。また、学生が茨木の魅力を発見・再発見していく過程を作品に落とし込むことで、来場者の皆様ご自身も身近な地域の価値や新たな一面を再発見していただけるような作品・展示を目指します。



・作品①「にゅー！いばらきもぐもぐ」

歴史ある茨木の中で5年以内にできた新しい飲食店にフォーカスをあてた作品。

・作品②「イバラキ's kitchen」

商店街での聞き取り調査をきっかけに、地域の特産品を活用した新たな名物を提案する作品。

・作品③「IBAUTA いばらキ ひびキ」

茨木市の最近話題の施設「おにクル」と昭和初期に生まれた商店街の魅力を伝える作品。

・作品④「いばらきみ一つけた！」

来場者が茨木市内で撮影した写真を用いて2つの缶バッジを制作する参加型展示。

【開催概要】

■展覧会タイトル：いばらきシアター ～メイクリメイク

■会期：2026年10月15日（木）～10月17日（土）

■時間：12:00～18:00（※最終日は17:00まで）

■会場：茨木市市民総合センター（クリエイティブセンター）1階 喫茶・食堂

■主催：追手門学院大学社会学部 林勇氣ゼミ「茨木市×追大プロジェクト」

■共催：茨木市 企画財政部 まち魅力発信課

■協力：公益財団法人茨木市文化振興財団、茨木市 共創文化部 文化振興課、茨木市 共創文化部 共創推進課、八木シンジロウ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-665-9166 織田・所